

Title	国際ロジスティクス・システムの設計 - 食品企業K社の事例を中心として -
Sub Title	
Author	永島裕明(Nagashima, Hiroaki) 小野桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1989
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1989年度経営学 第700号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0700">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0700</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 永 島 裕 明  
(株式会社紀文)  
所属ゼミナール 小 野 桂之介 研

主査 小 野 桂之介  
副査 古 川 公 成  
青 井 倫 一

## 国際ロジスティックス・システムの設計 — 食品企業K社の事例を中心として —

国際ロジスティックスは一旦成立した基本構造を容易に変えにくい特性を持つことから、企業の限られた経営資源を有効に利用していくためには、計画性と整合性を持ったロジスティックスの形成が必要となる。

本研究の目的は、食品企業K社を事例としてK社の将来の国際ロジスティックスを提案するとともに、経営環境と国際ロジスティックス計画の関係について理解を深めることにある。

研究の手順としては、まずK社の過去10年間における国際ロジスティックスの変化、および、その変化を促したK社の経営政策および企業行動の調査・分析をした。さらにK社をとりまく過去の経営環境を調査し、その変化がK社の経営政策と国際ロジスティックスに与えた影響の因果関係分析を行った。

この過去10年間の経験に関する分析の結果により、K社の経営とりわけそのロジスティックスの在り方にとって重要な経営環境要因を選定し、これらの調査・分析から将来の経営環境を予測した。予測した経営環境に基づき、K社の在るべき経営政策と企業行動を策定し、そこから導出されるK社の国際ロジスティックスを提案した。

検討対象とした将来の期間は、海外市場を開発し国際ロジスティックスの基礎構造を確立する当面の5年間、次いでK社のグローバル化の浸透にともない世界市場を4ブロック化し、各ブロック内でのロジスティックスの効率化を図るその後の5年間、の合計10年間である。